

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

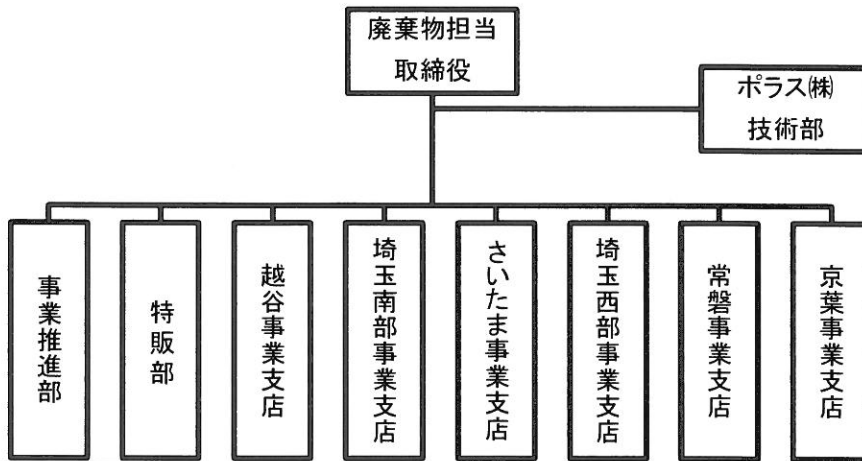
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2022年6月10日	
川口市長 殿	
提出者	
住所 埼玉県越谷市新越谷1-71-2	
氏名 ポラテック株式会社	
代表取締役 中内 晃次郎	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
連絡窓口 ポラテック株式会社(埼玉南部事業支店)	
電話番号 048-916-2015	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	ポラテック株式会社埼玉南部事業支店
事業場の所在地	川口市内各地域
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業 D06
② 事業の規模	完成売上高 5,981,400,000円
③ 従業員数	65名(2021年5月21日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず→破砕→再生利用 廃プラスチック類→圧縮梱包→再生利用 がれき類→破砕→再生利用 紙屑→圧縮梱包→再生利用 金属くず→破砕→再生利用 ガラス陶磁器→破砕→再生利用 混合廃棄物→破砕・圧縮梱包→再生利用

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2021年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表2参照	
	排出量	別紙A表2参照	2029.288t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表3参照	
	排出量	別紙A表3参照	1826.3592t
	(今後実施する予定の取組)		
上記①を一層向上させる			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体工事では特定建設資材、新築工事では段ボール・木くず・金属くず・がれき類・石膏ボード・廃プラ(塩素系を除く)の一部を分別し、できるだけ再生委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(2021年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(2021年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(2021年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(2021年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表2参照	
	全処理委託量	2029.288t	t
	優良認定業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
解体工事 建り法特定建設資材や金属くずは専門再生業者へ委託			
新築工事 木くずや廃プラスチックの一部はRPF製造業者へ、石膏ボードは広域認定メーカーへ再生委託			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表3参照	
	全処理委託量	1826.3592t	t
	優良認定業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者へ の処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
上記の実績と同様			
※事務処理欄			

